# 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月4日


上場会社名　株式会社 永谷園　　上場取引所　東
コード番号　2899　URL　http://www.nagatanien.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 町田　東
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長　(氏名) 松村　雅彦　TEL 03-3432-2511

四半期報告書提出予定日　平成23年11月11日　配当支払開始予定日　平成23年12月9日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 24年3月期第2四半期 | 30,880 | △2.8 | 2,077 | 74.2 | 2,160 | 83.4 | 1,145 | 76.4 |
| 23年3月期第2四半期 | 31,761 | 1.9 | 1,192 | 47.9 | 1,178 | 30.3 | 649 | 5.7 |

(注)包括利益　24年3月期第2四半期　1,264百万円　(―%)　23年3月期第2四半期　61百万円　(―%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|---|---|---|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 24年3月期第2四半期 | 30.06 | ― |
| 23年3月期第2四半期 | 17.23 | ― |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---|---|---|---|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 24年3月期第2四半期 | 52,728 | 23,896 | 45.2 |
| 23年3月期 | 55,023 | 22,933 | 41.6 |

(参考) 自己資本　24年3月期第2四半期　23,844百万円　23年3月期　22,882百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 23年3月期 | ― | 7.75 | ― | 7.75 | 15.50 |
| 24年3月期 | ― | 7.75 | | | |
| 24年3月期(予想) | | | ― | 7.75 | 15.50 |

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 67,000 | 0.1 | 3,500 | 10.7 | 3,500 | 14.7 | 1,850 | 76.4 | 48.54 |

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、(添付資料)2ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 24年3月期2Q | 38,277,406 株 | 23年3月期 | 38,277,406 株 |
| ② 期末自己株式数 | 24年3月期2Q | 166,553 株 | 23年3月期 | 160,799 株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 24年3月期2Q | 38,113,719 株 | 23年3月期2Q | 37,681,932 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
なお、業績予想に関する事項は、(添付資料)2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 2
２．サマリー情報（その他）に関する事項 …… 2
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 2
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 2
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 2
３．四半期連結財務諸表 …… 3
（１）四半期連結貸借対照表 …… 3
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 5
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 5
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 6
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 7
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 9
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9

## １．当四半期決算に関する定性的情報

### （１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災の影響により一時的に落ち込んだ企業活動が、サプライチェーンの復旧に伴い回復傾向にあるものの、欧米の信用不安による世界的な景気の停滞や、急激な円高等により、依然として先行き不透明な状況が続きました。当社グループを取り巻く市場環境も、消費者の雇用環境・所得環境への不安から節約志向が一層強まるなど、引き続き厳しい状況で推移いたしました。

このような経営環境の下、当社グループにおきましては、「基幹商品カテゴリーの売上獲得」と「商品の安定供給」を課題とし、グループの総力を上げて取り組んでまいりました。販売面につきましては、６月に供給体制が復旧したことに伴い、第２四半期ではお茶づけ・みそ汁・中華惣菜などの基幹商品カテゴリーを中心に、店頭における販売促進企画の提案やＣＭと連動したプロモーション活動を積極的に展開してまいりました。また、商品開発面につきましては、好評のオルニチンみそ汁の減塩タイプ「１杯でしじみ７０個分のちからみそ汁 塩分控えめ」や乾麺の付加価値商品である「お鍋ひとつで！鶏南蛮そば」、「同 すきやきうどん」、「同 ちゃんぽんうどん」を発売し、売上の獲得に努めてまいりました。また、生産面につきましては、電力の使用制限の中でも商品を安定供給するために、生産設備の稼働時間のシフトや自家発電機の利用などの対策を進めてまいりました。

以上の結果、当第２四半期連結累計期間の売上高は308億80百万円（前年同期比2.8%減）となりました。一方、利益面につきましては、生産品目が基幹商品中心となったことや、前期から推進しているコスト低減策により製造原価が低減したことに加え、第１四半期における販売促進費の減少により営業利益20億77百万円（同74.2%増）、経常利益21億60百万円（同83.4%増）、四半期純利益11億45百万円（同76.4%増）となりました。

なお、当社グループは食料品事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載を省略しております。

### （２）連結財政状態に関する定性的情報

当第２四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末より22億95百万円減少し、527億28百万円となりました。これは主に、商品及び製品が増加したものの、現金及び預金、受取手形及び売掛金が減少したことによるものです。また負債は、前連結会計年度末より32億59百万円減少し、288億31百万円となりました。これは主に、短期借入金が減少したことによるものです。また、純資産は主に、利益剰余金の増加により238億96百万円となりました。この結果、純資産から少数株主持分を控除した自己資本は238億44百万円となり、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ3.6ポイント上昇の45.2%となりました。

### （３）連結業績予想に関する定性的情報

第３四半期以降の当社グループを取り巻く経営環境は、先の見えぬ円相場や原油価格の高止まりによる原材料価格の高騰に加え、雇用環境の悪化による個人消費の伸び悩みなど、企業業績に影響を及ぼす懸念材料が多く、一段と厳しさを増すものと思われます。このような下で当社グループは、お客様に信頼される安全・安心な商品の供給に努めていくとともに、基幹商品カテゴリーの売上獲得や新しい価値の商品を市場投入していくことで業績向上に邁進してまいります。

なお、当社グループの通期の予想につきましては、当第２四半期連結累計期間の業績状況や、今後の市場環境を考慮し、平成23年５月13日に発表しました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日（平成23年11月４日）発表しております「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## ２．サマリー情報（その他）に関する事項

### （１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### （２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

税金費用については、当第２四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

### （３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## ３．四半期連結財務諸表

### （１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

| | 前連結会計年度<br>（平成23年３月31日） | 当第２四半期連結会計期間<br>（平成23年９月30日） |
|---|---|---|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 8,185 | 7,004 |
| 受取手形及び売掛金 | 11,163 | 8,552 |
| 商品及び製品 | 1,919 | 3,197 |
| 仕掛品 | 463 | 533 |
| 原材料及び貯蔵品 | 3,331 | 3,693 |
| その他 | 965 | 1,073 |
| 貸倒引当金 | △11 | △4 |
| 流動資産合計 | 26,019 | 24,050 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 14,221 | 14,418 |
| 減価償却累計額 | △8,790 | △9,007 |
| 建物及び構築物（純額） | 5,430 | 5,411 |
| 機械装置及び運搬具 | 11,784 | 11,961 |
| 減価償却累計額 | △8,952 | △9,175 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 2,832 | 2,786 |
| 土地 | 11,127 | 11,127 |
| リース資産 | 1,375 | 1,595 |
| 減価償却累計額 | △478 | △603 |
| リース資産（純額） | 896 | 991 |
| 建設仮勘定 | 26 | 43 |
| その他 | 1,794 | 1,807 |
| 減価償却累計額 | △1,477 | △1,502 |
| その他（純額） | 317 | 305 |
| 有形固定資産合計 | 20,631 | 20,664 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 77 | 61 |
| その他 | 148 | 128 |
| 無形固定資産合計 | 225 | 189 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 5,843 | 5,766 |
| その他 | 2,405 | 2,150 |
| 貸倒引当金 | △101 | △95 |
| 投資その他の資産合計 | 8,147 | 7,822 |
| 固定資産合計 | 29,004 | 28,677 |
| 資産合計 | 55,023 | 52,728 |

（単位：百万円）

| | 前連結会計年度<br>（平成23年３月31日） | 当第２四半期連結会計期間<br>（平成23年９月30日） |
|---|---|---|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 6,549 | 6,853 |
| 短期借入金 | 5,208 | 1,959 |
| 未払法人税等 | 574 | 750 |
| 賞与引当金 | 485 | 511 |
| 災害損失引当金 | 338 | 19 |
| その他 | 5,687 | 5,625 |
| 流動負債合計 | 18,845 | 15,719 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 7,000 | 7,000 |
| 長期借入金 | 3,217 | 3,001 |
| 退職給付引当金 | 413 | 475 |
| 役員退職慰労引当金 | 50 | ― |
| 資産除去債務 | 50 | 50 |
| その他 | 2,513 | 2,583 |
| 固定負債合計 | 13,245 | 13,111 |
| 負債合計 | 32,090 | 28,831 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 3,502 | 3,502 |
| 資本剰余金 | 6,509 | 6,509 |
| 利益剰余金 | 16,918 | 17,769 |
| 自己株式 | △132 | △137 |
| 株主資本合計 | 26,798 | 27,644 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △542 | △425 |
| 土地再評価差額金 | △3,373 | △3,373 |
| その他の包括利益累計額合計 | △3,916 | △3,799 |
| 少数株主持分 | 50 | 52 |
| 純資産合計 | 22,933 | 23,896 |
| 負債純資産合計 | 55,023 | 52,728 |

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

| | 前第２四半期連結累計期間<br>（自　平成22年４月１日<br>至　平成22年９月30日） | 当第２四半期連結累計期間<br>（自　平成23年４月１日<br>至　平成23年９月30日） |
|---|---|---|
| 売上高 | 31,761 | 30,880 |
| 売上原価 | 17,915 | 16,722 |
| 売上総利益 | 13,845 | 14,158 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 販売促進費 | 5,562 | 5,153 |
| 賞与引当金繰入額 | 275 | 267 |
| その他 | 6,815 | 6,660 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 12,653 | 12,081 |
| 営業利益 | 1,192 | 2,077 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 2 | 2 |
| 受取配当金 | 69 | 71 |
| 不動産賃貸料 | 37 | 56 |
| その他 | 74 | 99 |
| 営業外収益合計 | 184 | 230 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 83 | 73 |
| その他 | 113 | 73 |
| 営業外費用合計 | 197 | 147 |
| 経常利益 | 1,178 | 2,160 |
| 特別利益 | | |
| 受取保険金 | － | 94 |
| 災害損失引当金戻入額 | － | 54 |
| 特別利益合計 | － | 148 |
| 特別損失 | | |
| 減損損失 | 15 | － |
| 災害による損失 | － | 30 |
| 投資有価証券評価損 | － | 374 |
| 特別退職金 | 3 | － |
| 店舗閉鎖損失 | 2 | － |
| リース解約損 | 0 | － |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | 69 | － |
| 社葬費用 | － | 31 |
| 特別損失合計 | 91 | 436 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,086 | 1,872 |
| 法人税等 | 441 | 723 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 645 | 1,148 |
| 少数株主利益又は少数株主損失（△） | △4 | 2 |
| 四半期純利益 | 649 | 1,145 |

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

| | 前第２四半期連結累計期間<br>（自　平成22年４月１日<br>至　平成22年９月30日） | 当第２四半期連結累計期間<br>（自　平成23年４月１日<br>至　平成23年９月30日） |
|---|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 645 | 1,148 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △584 | 115 |
| その他の包括利益合計 | △584 | 115 |
| 四半期包括利益 | 61 | 1,264 |
| （内訳） | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 67 | 1,262 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | △6 | 1 |

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

| | 前第２四半期連結累計期間<br>（自　平成22年４月１日<br>至　平成22年９月30日） | 当第２四半期連結累計期間<br>（自　平成23年４月１日<br>至　平成23年９月30日） |
|---|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,086 | 1,872 |
| 減価償却費 | 801 | 763 |
| 減損損失 | 15 | － |
| のれん償却額 | 15 | 15 |
| 貸倒引当金の増減額（△は減少） | △56 | △12 |
| 賞与引当金の増減額（△は減少） | 44 | 25 |
| 退職給付引当金の増減額（△は減少） | 90 | 61 |
| 役員退職慰労引当金の増減額（△は減少） | 2 | △50 |
| 災害損失引当金の増減額（△は減少） | － | △318 |
| 受取利息及び受取配当金 | △72 | △74 |
| 支払利息 | 83 | 73 |
| 受取保険金 | － | △94 |
| 投資有価証券売却損益（△は益） | △0 | － |
| 投資有価証券評価損益（△は益） | 0 | 374 |
| その他の営業外損益（△は益） | △11 | 0 |
| その他の償却額 | 7 | 8 |
| 有形固定資産除売却損益（△は益） | 26 | 8 |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | 69 | － |
| 社債発行費 | 37 | － |
| 売上債権の増減額（△は増加） | △1,794 | 2,616 |
| たな卸資産の増減額（△は増加） | △697 | △1,709 |
| 仕入債務の増減額（△は減少） | △94 | 303 |
| 未払金及び未払費用の増減額（△は減少） | △383 | △36 |
| 未払消費税等の増減額（△は減少） | △83 | △127 |
| その他の資産・負債の増減額 | 41 | △112 |
| 小計 | △869 | 3,588 |
| 利息及び配当金の受取額 | 72 | 73 |
| 利息の支払額 | △72 | △73 |
| 保険金の受取額 | － | 273 |
| 法人税等の支払額 | △584 | △552 |
| 法人税等の還付額 | 0 | 0 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △1,454 | 3,309 |

（単位：百万円）

| | 前第２四半期連結累計期間<br>（自　平成22年４月１日<br>至　平成22年９月30日） | 当第２四半期連結累計期間<br>（自　平成23年４月１日<br>至　平成23年９月30日） |
|---|---|---|
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △14 | △12 |
| 有形及び無形固定資産の取得による支出 | △826 | △414 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 0 | 5 |
| 有価証券の償還による収入 | 5 | － |
| 関係会社貸付けによる支出 | － | △92 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △6 | △6 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 14 | 1 |
| 子会社株式の取得による支出 | － | △92 |
| 差入保証金の差入による支出 | △2 | △2 |
| 差入保証金の回収による収入 | 1 | 29 |
| その他 | △4 | △3 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △833 | △586 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額（△は減少） | △2,550 | △3,200 |
| ファイナンス・リース債務の返済による支出 | △129 | △162 |
| 長期借入金の返済による支出 | △307 | △265 |
| 社債の発行による収入 | 6,962 | － |
| 自己株式の純増減額（△は増加） | 440 | △4 |
| 配当金の支払額 | △291 | △284 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 4,125 | △3,916 |
| 現金及び現金同等物の増減額（△は減少） | 1,837 | △1,193 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 6,263 | 8,183 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 8,100 | 6,990 |

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。